



▲参加者が手を取り合い、優雅なフラダンスで会場が一つに

石越で「フラダンス公演」 フラダンスで癒しの時を！

フラダンスを通じて、心身ともに健康になろうと7月10日、石越公民館を会場にフラダンス公演が開催されました。舞台では、ダンサーによる優雅な舞が披露され、訪れた約150人から大きな拍手が送られました。当日は、主催者から「まけないタオル」（震災にも負けない）、出演者から難を逃れる意味を込めた南天の天然木のはしがプレゼントされたほか、観客が参加してのフラダンス教室も開催されました。参加者からは「艶やかな衣装と踊りに感動した」との声も多く、有意義な公演となりました。

南方で「あいさつ運動」 朝は元気なあいさつから

「社会を明るくする運動強調月間」にあわせて、青少年のための登米市民会議南方支部が、6月13日から7月11日までの約1カ月間に渡り、南方・東郷・西郷小学校の各校門前においてあいさつ運動を実施しました。この運動は、地域の子供たちが明るく健やかに心身ともにたくましく成長することを願い実施されたもので、参加した南方地区小学生児童の約500人は毎日「あいさつ運動チェックカード」にその日あいさつができたかをチェックするなど、元気なあいさつを心掛けていました。



▲各小学校の校門前では、児童の元気なあいさつが響いていました

市立米谷病院で「復興七タコンサート」 星に鎮魂と復興を願う

七タの伝統行事と東日本大震災犠牲者の鎮魂と復興を目的に市立米谷病院で7月9日、「復興七タコンサート」が行われ、患者や地域住民など多くの人が参加しました。コンサートは、病院職員による「七タさま」の合唱で始まり、小学生による舞踊の披露、市内を拠点に活躍しているアマチュアバンドの皆さんによるステージ演奏が行われました。また、コンサートの最後には、参加者全員で「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜の星を」を合唱し、会場からは温かい拍手が送られました。



▲病院職員による「七タさま」の合唱でコンサートがスタート



▲指導員から、海洋性スポーツの楽しさと怖さについて学ぶクラブ員

迫で「迫海洋クラブ開講式」 カヌーやヨットを楽しもう

海洋性スポーツを通して水と親しみ、自然を大切に育心しようとして7月9日、迫海洋クラブ開講式（迫海洋クラブ主催）が迫B & G海洋センターで開催されました。開講式には、今年加入した8人のクラブ員が参加し、オリエンテーションを通してこれからの活動の説明や紙芝居による海洋性スポーツの楽しさ、水辺での安全な活動について学びました。その後クラブ員は、ライフジャケットを着用して実際にボートへ乗船体験を行うなど、これからの活動に期待を膨らませていました。



▲本場弘前のねぶた絵師から、ねぶた絵の技法について学びました。

豊里で「ねぶた絵製作講習会」 ねぶた絵の技術を学ぶ

登米みなみ商工会青年部主催の「ねぶた絵製作講習会」が7月3日、豊里公民館において行われ、豊里地域各町内会・子ども会、YOSAKOI&ねぶたinとよさと実行委員約20人が参加しました。講習会には本場青森弘前ねぶたの絵師を講師に招き、弘前ねぶたの由来や歴史についてお話をいただいた後、講師の指導を受けて子供用ねぶたと称されている金魚ねぶたや、参考下絵を元にねぶたの基本となる扇ねぶたを親子で製作したり、それぞれのイメージで描いたりしました。

米山公民館で「元気はつらつ教室」 自分の体を知り元気になろう

米山公民館で行っている西野先人大学の第2回学習会「元気はつらつ教室」が7月12日、米山農村環境改善センターで開催されました。教室は、市と尚絅学院大学、東北文化学園大学が共催して行われたもので、43人の学級生が参加し、高齢期の低栄養予防を目的に体力測定やアンケート調査を行いました。西野先人大学では、年度末にも同様の教室開催を予定していて、測定した結果を比較し、自分の健康状態を確認できる大変良い教室となりました。



▲体力測定やアンケート調査で、普段の生活や食生活をチェック